

保護者負担軽減計画について

< 京都府提出資料 >

学校名	京都文教高等学校
所在地	京都市左京区岡崎円勝寺町 5
電話番号	075-771-6155

(1) 建学の精神	仏教精神を基盤とし、謙虚・誠実・親切をもって自己に課せられた使命を果たしうる人間の育成						
(2) 本校の特色及び 将来展望	特進コース（クラス A 文理／クラス B 文理専攻／クラス B 国際英語専攻）、進学コース、体育コースを設置。 週 6 日制、朝学習、各種検定試験受験の推進。 運動系・文化系合わせて多種のクラブと同好会。 Students Firstの姿勢のもと、生徒に寄り添った指導を行い、希望の進路を実現することで生徒・保護者の満足度を高めている。						
(3) ・ 令和 8 年度納付金 ※学科やコースによって 納付金に差異がある場合 は最低額を計上。 ・ 今回改定 あり ・ 前回改定 年度	【 1 年生 】	入学金 150,000	施設拡充費 (入学時)	授業料 558,000	施設拡充費等 * (経常的) 240,000	計 (入学時除く) 798,000	考查料 20,000
	【 2 年生 】			授業料 558,000	施設拡充費等 * (経常的) 240,000	計 798,000	
	【 3 年生 】			授業料 558,000	施設拡充費等 * (経常的) 210,000	計 768,000	
	*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。						
・ 今後の納付金に 対する考え方	①兼ねてより人件費や管理経費の削減、LED化による長期的な費用削減の取り組み。 また、物価高・光熱水費の高騰による教育の質の低下を避ける。 ②高等学校の独立採算を目指す。						
(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況	教育内容について、英語 4 技能対策としてオンライン英会話の導入、放課後特別授業・入試直前講習等の拡大実施など、多様な大学入試・進学に向けた取り組みをさらに充実させていく。一方で、部活動指導員制度を導入し、生徒の課外活動をさらに充実させる。 施設整備については、校内のWi-Fi化とICT機器の整備を完了。加えて全クラス黒板のホワイトボード化とプロジェクター設置も完了し、授業等での使用ノウハウを構築し、GIGAスクール構想に基づいたさらなる拡充を目指す。						
(5) 令和 8 年度の保護者 負担軽減策及び考え方	府が実施している「あんしん修学支援（国就学支援金＋府上乘せ）」など、国・各府県の施策に合わせ、まず低所得者世帯の負担軽減について優先的に取り組む。 なお従前から学校独自の奨学・修学支援制度は以下のとおり。 ・ 京都文教高等学校特進コース奨学金 ・ 京都文教高等学校クラブ奨学金 ・ 京都文教高等学校ブラバー奨学金						
(6) 今後 5 年程度の保護者 負担軽減計画	財務体質の強化を図ると同時に管理経費の削減に取り組み、加えて学校における働き方改革を行い、長時間労働の改善による人件費の削減に取り組む。 その結果、可能となれば保護者負担削減策の追加策定に取り組むたいと考えているが、社会情勢により判断し、検討していく。						